

授業概要

学習指導要領をテキストにし、国語科の意義や特質等について理解させ、表現力・思考力・判断力・伝え合う力を育むことのできる言語活動を習得させ、言語活動の充実を図ることを目的とする。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習指導の目標を明確にして取り組んできた教育現場での実践的資料をもとに指導するとともに、日常生活に必要な国語の力を身につけることができるようにする。実際に、教科書教材『ごんぎつね』で教材研究を行う、学習指導案を作成する、書写実技を行う、葉書を書く、詩を声に出して読み合う、1分間スピーチをする、伝統的な言語文化を体験する等の演習を中心にして、国語の力を高めていく。

授業計画

第1回	国語科の意義や特質（学習指導要領を参照）
第2回	国語科の目標及び内容、学年ごとの系統性（学習指導要領を参照）
第3回	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の評価
第4回	「話すこと・聞くこと」の言語活動（「1分間スピーチ」、「読み聞かせ」）
第5回	伝え合う力を育てる言語活動の工夫（「詩のボクシング」）
第6回	「書くこと」の学習（「書くこと」の単元作り、『グリンピース』の要約・放送原稿）
第7回	「書くこと」の学習（手紙文と葉書文の形式、実際に葉書を書く）
第8回	「読むこと」の学習（「読むこと」の単元作り、『おてがみ』で挿絵を読む）
第9回	「読むこと」の学習（『星の王子さま』の比べ読み、『浦島太郎』の比べ読み）
第10回	『ごんぎつね』の教材研究
第11回	効果的な板書の仕方（板書計画の比較）
第12回	学習指導案の作成（『ごんぎつね』又は各自で選んだ題材）
第13回	伝統的な言語文化について（書写実技指導の仕方－毛筆）
第14回	伝統的な言語文化について（書写実技指導の仕方－硬筆）
第15回	伝統的な言語文化について（短歌俳句、童謡唱歌など）
第16回	

到達目標

- ・相手に分かるように自分の言葉で、文章を書くことができるようにする。
- ・相手に伝わるように人前で自分の考えや感想などを述べることができるようにする。
- ・言語活動の体験や演習を通して、国語科の多様性を実感し、教育現場での学習指導に生かせるようにする。

履修上の注意

- ・書写実技指導（毛筆）で習字用具を使用するので、授業当日までに各自で用意しておくこと。

予習復習

- ・「詩のボクシング」では好きな詩を暗唱してくる、『グリンピース』の要約・放送原稿を書く、招待状などの葉書を書く、学習指導案を作成する等の宿題を出し、習熟化を図るようにする。

評価方法

- ・学期末試験による筆記試験 70%
- ・宿題やプリント等の提出物 20%
- ・質問や意見、感想、発表等の学習態度 10%

テキスト

- ・「小学校学習指導要領解説 国語編」（文部科学省）